

施策	2101 都市基盤の充実						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民						
施策が目指す姿	「市都市計画マスタープラン」及び「立地適正化計画」に基づく適切な土地利用の推進、主要道路の整備推進、鉄道駅周辺の利用環境の充実等を図る。						
成果指標	幹線市道の改良率・・・5年間（平成30年度～平成34年度）で94.6%（現状値93.9%）						
目 標 達 成 状 況		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成果指標1	予定	94.00	94.20	94.40	94.60	
	[%]	実績	94.10				
	成果指標2	予定					
	[]	実績					
		単位コスト					
	成果指標3	予定					
	[]	実績					
		単位コスト					
	成果指標4	予定					
[]	実績						
	単位コスト						
トータルコスト (千円)	予定	1,846,283	1,330,036	746,723	0	0	
	実績	1,079,029	1,330,036	746,723	0	0	
内 部 評 価	貢献度	上位施策の目標指標「道路の整備・保全に関する市民満足度」を向上させるためには都市基盤としての幹線道路の整備が重要であり本単位施策の目標達成による貢献度は高い。					
	達成状況	計画的な進捗管理のもと主要な事務事業の達成度は平均90と比較的高い結果となった。その他の事業についても計画どおり進めることができた。					
	課題	一部の事業で関係権利者や関係機関などとの調整に時間を要し未達の事業があった。事業計画の見直しと更なる関係権利者の理解と協力を得ることが必要である。					
	取組方針	事業の必要性について関係権利者に十分な事前説明を行うとともに、関係機関との綿密な打ち合わせを行い計画的な事業推進を図る。					
外 部 評 価	<p>都市基盤の充実を図る上で道路網の整備は極めて重要であり、幹線市道については、整備を進めていく必要がある。しかしながら、各路線整備には長期間を要しており、重要路線においては、集中と選択により整備期間の短縮に取り組む必要もあると考える。</p> <p>藤岡駅前広場や岩舟駅南口の整備については、事業着手から数年経過しているが、一向に進展が見られない。その間、岩舟地域にはサッカースタジアム建設が計画されるに至っており、これまでの整備方針の見直しが必要ではないかと思われる。については、関係課と協議し、岩舟駅南口の在り方を検討願いたい。</p>						
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	407403	市道1066号線道路改良事業費（藤岡富吉1区）				35,272	100
	409702	市道1061号線歩道整備事業費（大平新）				10,764	100
	434301	シビックコア推進事業費				7,636	100
	492101	市道2042号線（永宮橋）橋りょう整備事業費（栃木野中町）				72,090	100
	493305	市道1006号線道路改良事業費（西方金崎）				2,493	100
	701501	バリアフリー推進事業費				750	100
	705201	まちなか土地利用計画推進事業費				11,293	100
	706102	市道2083号線道路改良事業費（大平蔵井）				6,962	100
	712506	岩舟駅南口整備事業費				8,497	100
736701	（仮称）地域交流センター等整備事業費				530,508	100	

単位施策評価表 補表

施策	2101 都市基盤の充実		
区分	妥当性	妥当	都市基盤の整備はまちづくりの根幹となる事業であるため、本単位施策下の各事務事業の推進は不可欠である。
	コスト削減の余地	有	各事業の整備手法を見直すことにより、若干の余地があるものと思われる。
	受益者負担	適正	各事業の性質上、特定の者に対する受益はないため、市の負担は適正である。
	上位貢献度	有効	「暮らしやすい都市の創出」のためには、都市基盤を充実させることが最も貢献度が高いものと思われる。
	類似事業の有無	無	本施策の成果を達成するには、他の事務事業では代替できないものと思われる。
	成果向上の余地	有	進捗管理及び整備手法を見直すことにより、成果向上に繋がる事業もある。
内部評価	貢献度	上位施策の目標指数「道路の整備・保全に対する市民満足度」を向上させるためには、都市基盤としての幹線道路の整備が重要であり、本施策の目標達成による貢献度は高い。	
	達成状況	<p>・平成30年度に改良した幹線道路の総延長は403mであり、予定の幹線道路整備率94%に対し94.1%の結果となった。</p> <p>・実施計画に基づいた計画的な進捗管理により、達成度の平均は92と高い結果になった。</p> <p>①主要事業数7事業のうち達成度が100の事業数は3事業（達成度の平均は90）</p> <p>②その他の投資的事業等13事業のうち達成度が100の事業数は11事業（達成度の平均は94）</p>	
	課題	一部の事業においては、用地取得に時間を要しているもの、また、関係機関との協議・調整に時間を要したものなど、目標に達しない事業は、関係機関や権利者等の理解と協力を得るための努力が必要である。	
	取組方針	事業の必要性について関係権利者に十分な事前説明を行うとともに、関係機関との綿密な打ち合わせを行い計画的な事業推進を図る。	